

産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

情報連絡事項	頁
(1) 熱中症警戒アラート発表時における防災行政無線の試行実施について	2
(2) 令和6年度第1回環境審議会の開催結果について	3
(3) 特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策について	6
(4) 環境学習ツアーノ（長野県山ノ内町）の実施結果について	7
(5) 環境講座の実施結果及び実施予定について	8
(6) 3R・食品ロス削減推進月間における取組について	10

(環境部)

産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

件名	熱中症警戒アラート発表時における防災行政無線の試行実施について
所管部課名	環境部環境政策課
内 容	<p>環境省の熱中症警戒アラート（※）発表時における区内周知について、以下のとおり防災行政無線を試行実施しているため情報連絡する。</p> <p>※ 热中症警戒アラートとは 暑さ指数が33以上に達することが予測される場合に、環境省から発表</p> <p>1 開始日 令和6年8月8日（木）～</p> <p>2 試行放送日時 平日 午前10時頃 (環境省の熱中症警戒アラート発表時のみ放送)</p> <p>3 放送区域 区内全域</p> <p>4 放送内容 「こちらは、足立区役所です。 本日、熱中症警戒アラートが出ています。ご注意ください。」</p> <p>5 今後の方針 今年度の試行実施を踏まえ、来年度の継続実施を検討していく。</p>

産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

件名	令和6年度第1回環境審議会の開催結果について		
所管部課名	環境部環境政策課		
	令和6年度第1回環境審議会の結果について、以下のとおり情報連絡する。		
1 開催日時 6月24日（月）午前10時00分～12時00分 2 開催場所 区役所8階庁議室 3 委員の構成 15名（15名出席）			
内 容	委員区分	氏名	役職等
	学識 経験者	タナカ ミツル 田中 充 【会長】	法政大学名誉教授（元社会学部 社会政策科学科 教授）
		モモタ マサシ 百田 真史 【副会長】	東京電機大学 未来科学部 建築学科 教授
		ミズカワ カオルコ 水川 薫子	東京農工大学 農学研究院 物質循環環境科学部門 講師
	区議会 推薦委員	ワタナベ ヒデアキ 渡辺 ひであき	区議会議員
		イイクラ ショウジ いいくら 昭二	区議会議員
		ヨコタ ユウ 横田 ゆう	区議会議員
		ツチャヤ ノリコ 土屋 のりこ	区議会議員
	区内 事業者	タナカ コウイチ 田中 功一	足立区商店街振興組合連合会
		コイズミ トシオ 小泉 俊夫	東京商工会議所足立支部
	区民委員	モギ フクミ 茂木 福美	足立区女性団体連合会
		クガ トシオ 久我 俊夫	足立区町会・自治会連合会
		ナカムラ シゲオ 中村 重男	公募
		タカハシ アンナ 高橋 杏奈	公募
		ウエ シゲユキ 上 茂之	公募
	区職員	工藤 信	副区長

4 報告事項

- (1) 脱炭素化関連事項
 - ① 区内の二酸化炭素排出量の算定結果について
 - ② 区施設の再生可能エネルギー100%電力導入状況について
- (2) 環境基金の助成による区民、団体等の環境活動促進に関する事項
 - ① 環境基金審査会（令和6年度第1期）の審査結果について
 - ② 若年層をターゲットとした環境基金の新たな活用について
- (3) 廃棄物の減量、リサイクル関連事項
 - ① 令和6年度廃食油の拠点回収のモデル実施について
 - ② 廃棄物管理責任者講習会の実施結果について
- (4) 環境学習に関する事項
 - ① 令和6年度環境学習事業の実施予定について

5 主な意見

- (1) 脱炭素化関連事項
 - ア オール東京が公表する排出量実績が2年遅れの数値であるため、分析内容と現在の実感との間に差が生じてしまう。
 - ➡ オール東京では排出量の算定根拠となるデータの収集に時間を要するため、実績の公表を早めることが困難と聞いている。
 - イ 2030年度にはCO₂排出量を138万トンにまで削減しなければならない状況の中、省エネ、創エネに関する補助事業に加え、ごみの減量に関する啓発により脱炭素化を図ってほしい。
- (2) 環境基金の助成による区民、団体等の環境活動促進に関する事項
 - ア 環境基金の助成による活動が助成期間終了後も継続しているものや、成果が区外にも広く波及した実績などがあれば、成功事例として区から情報発信していくべき。
- (3) 廃棄物の減量、リサイクル関連事項
 - ア 廃棄物管理責任者講習会の受講は法律により義務付けられたものか。また今後、受講事業所数をどうやって増加させていくか。
 - ➡ 法律の義務付けはなく任意の受講となっている。事業所からの要望を反映させ、受講できる期間をこれまでよりも延ばし、受講を働きかけていく。
- (4) 環境学習に関する事項
 - ア 乳幼児向けに、自然とのふれあいにより感性を養えるような体験や遊びの場となるプログラムを環境学習に加えてほしい。
 - イ 環境学習を受けた小中学生が、大人になった時に、ごみの分別や地球温暖化対策への意識を持ち続けられるような、若者向けの切れ目のない意識啓発を行ってほしい。

参考 環境審議会とは

(1) 環境審議会の役割

環境基本法(平成5年法律第91号)第44条の規定に基づき、平成11年8月に区長の附属機関として設置した。

区長の諮問に応じ、環境基本計画の策定やその他の環境の保全について必要な事項について調査審議を行う。

(2) 主な諮問事項（直近6年）

平成30年4月 第三次足立区一般廃棄物処理計画改定

平成30年4月 足立区災害廃棄物処理計画策定

令和元年11月 第三次足立区環境基本計画改定

令和元年11月 気候変動適応法及び地域気候変動適応計画策定

令和2年3月 あだちなエコアイデアの審査

令和4年9月 足立区脱炭素ロードマップ策定

産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

件名	特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策について
所管部課名	環境部環境政策課
内 容	<p>標記の件について、以下のとおり情報連絡する。</p> <p>令和6年6月から区内における特定外来生物クビアカツヤカミキリ※1の発生（古千谷本町、花畠、大谷田、東綾瀬）が増加※2しているため、専門家（森林総合研究所）からの助言を基に以下の方針にて対応していく。</p> <p>※1 桜、梅、モモ、スモモなどの木に卵を産み、幼虫が樹木を食害し、枯らしてしまう。特定外来生物に指定され、環境省より早期発見、早期防除の徹底により、まん延防止の注意喚起依頼がされている。</p> <p>※2 近年、草加市において増加傾向にあり、区内への飛来等による増加や、気温上昇で樹木が弱体化し、樹液で幼虫を溺死させる力がなくなり、増加しているとも考えられる（森林総合研究所）。</p> <p>1 効果的な防除</p> <p>プラス（幼虫が幹を食べた後のふんや木くず）が排出される穴へ市販されている専用殺虫剤を注入する。</p> <p>2 今後の方針等</p> <p>(1) 継続的な防除、啓発が必要であるため、発生地域の町会自治会へのチラシ配布、道路公園維持課等へ駆除方法の情報提供を行う。</p> <p>(2) LINEで防除の啓発及び駆除を行う方法など発信を行った。 区HP（クビアカツヤカミキリ注意喚起掲載ページ）のリンクを貼つて、詳しい情報も見ることができるようとした。</p> <p>【参考】</p> <p>プラス</p>  <p>成虫</p>  <p>▲オスの成虫 ▲メスの成虫</p>

産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

件 名	環境学習ツアー（長野県山ノ内町）の実施結果について
所管部課名	環境部環境政策課
	標記の件について、以下のとおり情報連絡する。
内 容	<p>1 実施日 令和6年8月3日（土）～8月4日（日）※ 1泊2日で実施</p> <p>2 実施場所 長野県山ノ内町 1日目：志賀高原ユネスコエコパーク 2日目：須賀川ふれあいセンター・道の駅北信州やまのうち</p> <p>3 対象 区内在住の小学4～6年生とその保護者</p> <p>4 定員 45人 ※ うち10人は子どもの未来応援枠</p> <p>5 参加者数 21組43人（139組311人の応募があり抽選）</p> <p>6 主な意見・感想など (1) トレッキングは自然を感じることができて、自然を大切にと思った。 (2) 星がたくさん見えた。ホタルはやっぱりきれいだった。 (3) 足立区に戻ったら、自然を守るためにポイ捨てをしないようにしたい。</p>



産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

件 名	環境講座の実施結果及び実施予定について
所管部課名	環境部環境政策課
	標記の件について、以下のとおり情報連絡する。 1 実施結果について (1) 講 座 名 「セミの羽化観察会」 (2) 実施日時 令和6年8月3日（土） ① 18時00分～20時00分 ② 19時00分～21時00分 (3) 実施場所 佐野いこいの森・佐野地域学習センター (4) 対 象 区内在住の小学生とその保護者 (5) 定 員 1回30人×2回 (6) 応募者数 ① 108人 ② 25人 (7) 参加者数 ① 26人 ② 28人 (①の繰り上げ当選者含む) (8) 主な意見・感想など ア 先生から、身近なセミの種類や生態についてなど、色々な説明が聞けて良かった。 イ 羽化できずに死んでいるセミもあり、命の大切さも分かった。 ウ 動く幼虫を初めて見たので、なんだか不思議だった。  
内 容	2 実施予定について (1) 「落語で楽しく海の環境について学ぼう！」の実施について ア 目 的 脱炭素社会の実現に向けた意識・行動変容につながる情報を発信する。海で起きている環境問題に関する落語と環境の専門家によるトークを通じて、私たちにできる対策について考える。 イ 実施日時 ① 令和6年9月7日（土） 10時30分～11時45分

	<p>演目「魚籃坂44」 海洋ごみ・海の温暖化をテーマにした落語 ② 令和6年10月19日（土） 10時30分～11時45分 演目「かーぽんにゅーとらる？」 カーボンニュートラルをテーマにした落語</p> <p>ウ 実施場所 ギャラクシティ エ 対 象 区内在住・在学・在勤の方 オ 定 員 1回50人×2日間</p>
(2) 「あだちボートクルーズ」の実施について	<p>ア 目 的 ボートで荒川を巡りながら、荒川の自然や歴史を学ぶ機会を提供し、区の自然環境への愛着や環境保全意識を醸成する。</p> <p>イ 実施日時 令和6年10月27日（日） ※ 予備日11月4日（月・祝） ① 9時00分～ 9時50分 ② 10時00分～10時50分 ③ 11時00分～11時50分 ④ 13時00分～13時50分 ⑤ 14時00分～14時50分 ⑥ 15時00分～15時50分</p> <p>ウ 実施場所 新田リバーステーション エ 対 象 区内在住・在学・在勤の小学生以上の方（小学生は保護者同伴） オ 定 員 1回20人×6回</p>

産業環境委員会情報連絡

令和6年8月21日

件名	3R・食品ロス削減推進月間における取組について
所管部課名	環境部ごみ減量推進課
	10月の3R・食品ロス削減推進月間における取組について情報連絡する。
内容	<p>1 区啓発イベントへの出展</p> <p>(1) 出展イベント</p> <p>ア あだち区民まつり（令和6年10月12日（土）～13日（日）） イ くらしフェスタ（令和6年10月26日（土））</p> <p>(2) 出展内容</p> <p>今年度は特に以下の二点に重点を置く。</p> <p>ア 生ごみの減量</p> <p>プラスチック分別回収の全区展開に向け、生ごみの減量は主要課題の一つであることから、食品ロスの削減、生ごみの水切りや生ごみ処理機活用に関する啓発を行う。特に生ごみ処理機の活用については、現場で実機を用いた展示販売と共に補助金の申請受付も同時に行う。</p> <p>イ 廃食油のリサイクル</p> <p>脱炭素に向けた新たな施策である廃食油リサイクルへの区民の認知度を高めるため、事業者との協働でVR※を用いた体験型の啓発を行う。 ※ 廃食油が航空燃料に生まれ変わる過程を収めたバーチャルリアリティ立体動画</p> <p>2 3R推進月間キャンペーン</p> <p>(1) 目的</p> <p>ア Rのお店※との共同を通じて3R実践を区民に呼び掛けること イ Rのお店に対する区民の認知度を高めること ※ 環境に配慮した取組を行っている小売店を区がRのお店として登録。 令和6年5月末現在76店舗</p> <p>(2) 開催期間</p> <p>令和6年10月1日（火）～10月31日（木）</p> <p>(3) 啓発に関する取組</p> <p>「リサイクル品を購入する」「過剰包装を断る」など、3R推進の取組を実践した区民に、Rのお店を通じて啓発物品（トウモロコシ由来の纖維を使用した食器洗い用ネット）を配付する。</p> <p>(4) その他</p> <p>関係所管との連携も視野に入れた新たな取組について検討する。</p>